

KIBO NO NIJI きぼりの虹

発行所
 北海道大学生協同組合
 札幌市北区北8条西7丁目
 教職員委員会編集
 電話 011-746-6218

主な記事紹介

二面三画 ニホンザルこぼれ話 第8話
 四面 理系構成員へのアンケート結果のご報告
 七面 大学文書館へ行く 第9回

北海道大学 井上 高聡
 風張 喜子



化石燃料を利用し始めた産業革命以降からの平均気温上昇を1.5℃以内にするために、温室効果ガスの排出量と森林などへの吸収量が釣り合う状態、すなわちカーボンニュートラルを2050年までに達成しようという目標が掲げられている。化石燃料（石炭、重油、天然ガスなど）を再生可能エネルギー（太陽光、風力、地熱、バイオマスなど）に転換することで達成される、というのは間違いでないが、そんなに単純なものでもない。本稿では、カーボンニュートラルを達成するための道のりについて述べたい。

①省エネの徹底による利用側の変化
 日本は、1970年代のオイルショック以降、徹底した省エネ技術を磨いてきた。しかし今、一人一人の省エネの取り組みに加えて、ZEH (NET Zero Energy House) & NZEd (Net Zero Energy Building) にするのと、電気利用のピークシフト、家庭や自動車の電化など、エネルギー利用側の変化が求められている。

②熱と燃料の再エネ化
 国内一般家庭の温室効果ガス排出の内訳は、半分が電気利用、1/4が給湯・調理の熱利用（都市ガス

③更新時期を考慮した段階的な転換
 すべてのボイラを今、更新することはできない。すぐにEV（電気自動車）やFCV（水素燃料自動車）に乗り換えることもできない。次の買い換え時期を考慮した改善の策が重要である。例えば、重油から天然ガスボイラへの転換、小型車への乗り換えはカーボンニュートラルに貢献する。

カーボンニュートラルと地産地消

工学研究院循環共生システム研究室 教授
 ロバスト農林水産工学国際連携研究拠点 (ロバスト拠点) 代表
石井 一英

Opinion!

プロパンガス）、残りが自動車燃料利用（ガソリン、軽油）である。これら熱と燃料の再エネ化が求められており、再エネ由来の水素、再エネ由来のLPGなどの技術開発と社会実装への取り組みが進んでいる。

最後に、カーボンニュートラルは最終目的ではない。地産地消を実践するまちづくりに、参加すること、貢献すること、そして、周りの人と協働すること、助け合うことが重要であると思っている。そしてその先に、最終目標としての持続可能な社会や幸せがあると信じている。

④地産地消・地消地産
 エネルギーはもちろんのこと、飼料や肥料の地産地消は資金の外部流出抑制だけではなく、カーボンニュートラルにも大きく貢献する。今後は窒素とリンの循環が重要となる。

⑤経済の分散化
（地域通貨や地域ポイント）
 由来が見える化された（トレーサビリティ）エネルギーや食料の地産地消を後押しするような地域通貨やポイント制が、地域内の人々のつながりを深めるかもしれない。

⑥人材育成と市民自治
 地域には大きな人材ポテンシャルがある（と信じている）。私のまわりの今と将来に貢献する人材育成と、市民参加や市民自治力を強化することがカーボンニュートラルには重要である。カーボンニュートラルをきっかけに地域が変わることを期待している。

プロパンガス）、残りが自動車燃料利用（ガソリン、軽油）である。これら熱と燃料の再エネ化が求められており、再エネ由来の水素、再エネ由来のLPGなどの技術開発と社会実装への取り組みが進んでいる。



ニホンザル こぼれ話

■第8話■

地域個体群研究会 風張 喜子

ぐうたらを頑張る

去年の夏、今年の冬とオリンピック・パラリンピックが続きましたね。テレビから流れる国内外の難しい情勢のニュースと華やかなオリンピックの光景のギャップに、本当に同じ世界での出来事だろうかと困惑しながらも、お気に入りの競技はインターネットのライブ配信まで利用してしっかり観戦したクチです。スキージャンプやカーリングなど北海道出身の選手たちの応援に熱中したのも、きつとわたしだけではないでしょう。

それにしても、持てる能力を限界まで発揮するために努力するなんて、たくさん生き物の中でもヒトくらいじゃないのではないのでしょうか？ 去年、人生で初めて猿回しを見物したのですが、想像以上の激しい動き、難しそうなきを披露してくれるではありませんか。猿回しの場合、相棒の能力を引き出したイトレーナーさんにサルが応えている形ですね。ニホンザルの身体能力の高さに驚くとともに、野生のサルたちがふだん見せてくれるのはそのほんの一部だということを実感したのでした。それもそのはず。人里離れた野生のサルの平和な暮らしでは、火事場のバカ力を発揮する機会なんてほとんどありませんから。みなさん、野生動物は一生懸命、必死になって生きていると思うでしょう？ 実は、そうでもないんですよ。

例えばある年の秋のはじめ、サルの大好きなブナの実がたくさん実りました。サル

たちはまだ本格的な発情を迎えていません。木に登って食べては、そのすぐ下で何時間もぐうたらしています。お腹がすいたらまた同じ木に登って食べて、食べ終わるとぐうたら、ぐうたら、時々毛づくろい。来る日も、来る日も。もつとあちこちに移動すれば、他にもいろんな種類の食べ物食べられるのに、動く気配がまったくありません。手近なところでちよつとほかの物をつまむくらいで、ほとんどブナの実ばかり食べています。ブナの実には栄養もあつて美味しいので、それよ

り劣るほかの物を食べるためにわざわざ移動するなんて選択肢はないみたいです。

季節が進むと、たくさんあつたブナの実も食べられてだんだんと減っていきまます。すると、ブナの実のある場所へは行かなくなりまます。まだ残っているように見えるのに、頑張つてブナの実探すなんて、やつてられない。栄養や味がイマイチでも、もつと簡単に手に入る食べ物でいいや。そんな感じですよ。食べ物もつと少ない冬には、美味しい木の実はほんの少し残つ



頑張つてるサル（猿回し、縁の福くん）。
こんなこともできちゃう！

いじわるじいさん

『おおきな木』（シエル・シルヴァスタイン著）という絵本がある。小さな男の子が、親に甘えるように木に甘え、成長して、老いて、切株になった老木の元に戻ってくる。ラストの絵が切なく心に残る▼大きな木といえば、自宅近くの鎮守の森のシバクリは、樹齢350年以上。しめ縄を回した御神木だ。神社の例大祭では参道に出店が並び、コロナで昨年は中止になったが、子ども相撲もあると聞いて、先の絵本を思った▼その木の所に行くには斜面の墓地の道を上る。途中に陸軍伍長と刻印され、名が刻まれた墓石があつた。背面に昭和17年とある。太平洋戦争が始まった翌年だ▼戦死者を思つて、村を一望できる高台に建てたのだろう。今、高層住宅が立ち並ぶ町は、当時、水田とリンゴ園だつた。シバクリは、すでに樹齢250年を超えてここにあつた▼2月24日、ロシアが侵攻しウクライナ戦争が始まった。連日ニュースが爆撃と炎から逃げる家族を映す。絵本から飛び出してきたような男の子の涙に、胸が締め付けられる。死者数の発表に、伍長の墓石が重なる▼鎮守の森に行つた。シバクリの太い枝は力強く身をよじり、その枝先は天を指しているように見えた。（今日子）



レスリング遊びに興じる子ザルたち。
子ザルたちはオトナほどはぐうたらを続けられません。

ていても見向きもせず、そこいらにある木の皮や草の根ばかり食べています。
お堅い教科書的には、こういうのをコストパフォーマンス又重視の戦略とでもいうのでしょうか。こんなサルの生き方を、サル研究の先人は「楽をしてうまいものを食う」と表現しました。たしかに、納得です。いかにぐうたら楽に生きるか、それがサルのポリシーなのかもしれません。そうそう、そんなに頑張らなくてってなんとかやっていければOKじゃない？なんてね。物事を極めるすごい人達がいる一方で、意識をしっかりと持

たないといつものまにか楽な方に流されてしまうのは、サルと共通の祖先をもつわたしにもサボリの本性が備わっているからでしょうか(笑)。
そんなサボリ屋のサルたちですが、日常のひよんな出来事から意外な一面が顔を出すなんてこともあるんですよ。とても寒い冬の日。1歳のコドモが母ザルに向かって歩いていきます。その途中に大きな水たまりが凍っています。子ザルは躊躇なく氷の上を歩きますが：あ、滑った！と同時に飛び上がって身震い。分かりやすい驚きようです。前年

は暖冬だったから氷を見る機会はなかったかもしれませんが、この年は特に寒くて森じゅうの沢のほとんどが凍っていたので、氷を見たことくらいはあったでしょう。でも、あの驚きぶりからすると、氷で滑ってしまうのは初めてだったのかもしれません。
その後、無事に凍った水たまりを渡り切りきった子ザル、母ザルの元に行くのかと思いきや水たまりに戻ってきました。そして、滑る感覚を確かめたり味わったりしているかのように、両手のひらを

ニホンザルの暮らして、おんなじ毎日の繰り返しだなと思うこともあります。交尾期でもなければ事件はほぼ起こりません。でも、火事場のバカ力、出さずに済むならそれに越したことはありませんよね。彼・彼女らにそんな日々が続きますように。翻って、いつもどこかで誰かの命や暮らしが理不尽に脅かされているのが、ヒトの世界。その名に恥じない平和の祭典ができる日が訪れますように。

氷の上で何度も滑らせます。納得した様子で立ち去りますが、すぐにもう一度戻ってきて、今度は両手両足を氷に乗せて体全体を使って滑ります。これって、スケート遊びでは!?初めて触れた氷に興味を持ち、瞬時に性質を理解して遊びまで閃いちゃう、1歳の子ザルにこんな能力が秘められているとは！こんなすばらしい知能も、ふだんはサボりを極めるのに使われているんでしょうけど。



ちょうどいい背もたれを見つけて、ぐうたら



ぐうたらしてるサル

理系構成員へのアンケート結果のご報告

2022年1月25日～2月4日の期間、2週間にわたり理系構成員（理学部、理学院、生命科学院、総合化学院、理学研究院、先端生命科学研究院（北キャンパスを含む）、理学生命科学事務部に所属する学生・院生・教員・大学職員の皆様、約2,600名）を対象にしたアンケートを実施しました。各学部長・研究院長・事務部長をはじめ様々な皆様の深い理解と多大なるご協力をいただき実施できたことは大変しあわせなことでした。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

既に、北大生協のホームページの「お知らせ欄」に掲載していますが、アンケートから抜粋した内容を動画にして公表しています。

ぜひ、そちらもご覧ください。 <https://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/news/news-12272/>

寸評

回答数は617人でした。試験期間突入またBCPLレベル2に変更されたタイミングでしたので、まずまずの回答数でした。ご協力頂いた皆さま、改めてありがとうございます。

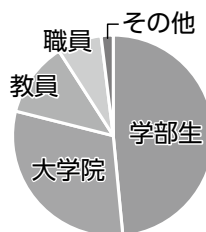
回答者の階層もバランスが良く資料として有効と思いますので、今後の運営に積極的に生かしていきたいと思います。このアンケートの最も重要な「北大生協が大きな累積赤字を抱えていることを知っているか」という問いに対しては、ほぼ拮抗していました。組合員の半数の方が、北大生協の現状を認識頂いているという見方ができますし、一方ではまだまだ「危機感の共有」が不十分ではないかという分析も可能です。構成員の50%以上の回答を得ることができた薬学部で実施したアンケートでは、同一の質問項目がありませんでしたので比較はできませんが、とにかく引き続き北大生協の現況をしっかりお伝えして、組合員の皆様にお支え頂きたいと思っています。そのことができると確信できるのは、「利用者ミーティングなどに参加したいと思うか」という質問項目に、189人の方が、YESと回答していただいたからです。理事会の議論でも、大変驚きを持って評価させていただいています。

また、北大と北大生協が「福利厚生業務に関する業務委託契約」を結んでいて、「北大生協は福利厚生業務の一部を委託されていることをご存知ですか?」という質問に対しては、65%の方が「知らない」と回答しています。この点は、重要な事ですので、組合員の皆さんにしっかりと知らせていきたいと思っています。

今年度は、薬学部・歯学部・理学系とアンケートを実施させていただきました。購買薬学部店では、アンケートを受けて営業時間を延長したり、品ぞろえを工夫しています。今後も、アンケートを取るだけでなく、店舗で具体化をすることを重視していきます。学部ごとにアンケートを取ることで、やはり特徴が見えてくるのだということがわかりました。

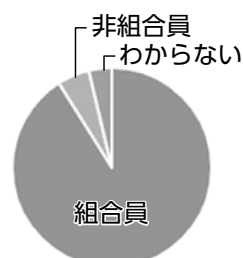
1. 階層

学 部 生	299人 (構成比 48.5%)
大 学 院	188人 (構成比 30.5%)
教 員	74人 (構成比 12.0%)
職 員	44人 (構成比 7.1%)
そ の 他	12人 (構成比 1.9%)
合 計	617人



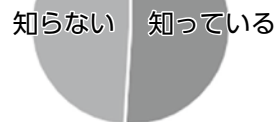
2. 組合員でしょうか?

組 合 員	562人 (構成比 91%)
非組合員	32人 (構成比 5%)
わからない	23人 (構成比 4%)
合 計	617人



3. 北大生協が大きな累積赤字を抱えていることをご存知でしょうか?

知っている	308人 (構成比49.9%)
知らない	297人 (構成比48.1%)
合 計	605人



4. もっと利用者の皆さんとコミュニケーションを深めるため総代会議や利用者ミーティングを計画していますがタイミングが合えば参加されますか?

参加したいと思う 189名

2022年度『総代会』について

～5月25日(水) 生協会館にて開催～

「総代会」は年に一度開催される北大生協の最高議決機関です。ここでは組合員の代表である「総代」が議案についての議決をし、今後一年間の生協運営についての方向性を議決します。今回は下記のとおり議案が予定されています。

2年続いたコロナ禍での経営状況と改善事項について報告と今後一年間とそれ以降に繋がる政策について議論していきます。

4月から5月に開催される意見交換をメインとする教職員「総代会議」や学生向けの総代説明会・総代ミーティングなどにおいて議案の説明を行っていきます。

また、組合員の声を反映させるために年数回行われる「総代会議」や「総代ミーティング」「組合員の声カード」で出されたご意見を尊重し「総代会」で議決したことの具体化を議論し、執行する「理事会」の存在があります。

「総代会」で議決するのも役員を決めるのも組合員の皆様のご協力がなければ成り立ちません。

4月25日までに「総代」の選出(立候補・推薦)にご協力願います。

2022年度通常総代会の予定議案

- 第1号議案 2021年度 事業報告書・決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2022年度事業計画及び予算承認の件
- 第3号議案 役員報酬限度額決定の件
- 第4号議案 日本コープ共済生活協同組合連合会への加入の件
- 第5号議案 定款一部改正の件(第69条 事業の品目等)
- 第6号議案 役員選挙規約一部改正の件
- 第7号議案 議案決議効力発生の件
(役員選挙)



【北大生協 総代会 ホームページ】

<https://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/univcoop/board/soudaikai.html>



●生協役員(理事・監事)の立候補受付を後日「公告」致します。

【公告場所】生協会館・北部厚生会館・中央食堂・工学部店・水産店生協ホームページなど

2022年度第1回全国教職員委員会のご報告

2月20日に行われました全国教職員委員会についてご報告いたします。長引くコロナウイルス感染症によって各大学で予定されていた教職員委員会の活動が大幅に制限されていることを踏まえ、2022年度の活動方針が提案されました。2022年度のメインテーマは「コロナに負けない大学生協と学生支援」とし、学生支援だけでなく大学生協そのものの存在意義について改めて認知することが重要であることが提言されました。コロナ禍により大学での教育活動や研究活動は大きく変わり、それに伴い大学生協も対応を迫られました。特に、大学生協を支える組合員の新規加入が重要な課題となっております。各大学での大学生協の意義を伝え、積極的な加入促進のキャンペーンを行う方針が示されました。

本年9月に横浜国立大学で予定されています全国教職員セミナーの進捗状況が報告されました。テーマは「コロナ禍を経験した大学と学生の今とこれから」です。現時点では、対面式とweb式のハイブリッド開催を準備していますが、コロナ感染状況や大学の対応によって適宜変わる可能性があるとのことでした。各プロジェクトチームが本セミナーに向けてテーマに沿った企画を準備しているところです。詳細が決まりましたら、『さぼりの虹』にてご案内できればと思います。

各地域ブロックでは、全てのブロックにおいてコロナ禍によって著しくブロック活動が制限されたという報告がありました。中でもブロックの積極的な活動や取り組みを2つご紹介したいと思います。東海ブロックは様々な業種との協働プロジェクトや市民生協と大学生協との連携プロジェクトの報告がありました。今後の計画の中で大学生協(東海ブロック)が持っているビッグデータを活用し、大学教育市場への活動に役立てたいとのことでした。九州ブロックでは宮崎大学でのコロナ濃厚接触者および感染者の食事についての報告がありました。生協の管理物件に入居していた学生が濃厚接触者や感染者となり、学生の食を守るために大学と大学生協が連携し、本人と直接連絡をとりミールカードまたはプリペイドを預かり、食事メニューを注文し決済配達した事例報告がありました。これらの報告は、我々の今後の活動に大変参考になるものでした。

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



科学技術が発達して、生活の利便化が進むと、人と人とのかわりが希薄になってゆく。これは当然のことだと思います。直接助け合わなくても生活できる、ということでしょうから。どちらかと言うと、そのマイナスの側面が語られることが多いように思いますが、お互いのことが何でもわかってしまうような郡部の小さな町に育った人が、その大変さを訴えることからしても、人と人とのかわりが薄いということには、自由で気楽という面もありますよね。現代日本社会ではインターネットの発達によって、その気になれば、身の人のかわりをゼロに近い状態で生きてゆくことが、可能だろうと思います。

とは言え、人とのつながりが非常に薄くなってゆくと、人は非常に弱くなるとされます。他人を思うままに操ろうとする際の基本は、相手を孤立させることにあると言っているでしょう。ハイジャック犯は、通常、人質同士の会話を禁じますし、ドメスティック・パヨオレンス加害者も、相手の対人関係を断ち切って行って孤立させるというのは、言ってみれば常套手段です。いじめでも同様のことが起こるとされます。大災害が襲った時、非常に普遍的に見られる人間の行動は、家族と一緒にいようとすることです。東日本大震災発生の数日後に出張で東京に行ったのですが、街や電車の中で、公共交通機関の止まった中、職場から家まで五時間も六時間も歩いて帰ったという話が、あちこちから聞こえてきました。戦場で命を懸けて戦う兵士には、仲間との間に強烈な絆が生まれると言います。人は危機的な状況になればなるほど、他人との精神的なつながりが必要とするもののようにです。

そう考えると、感染症の大流行という現在の状況は、人と人とのつながりを希薄化するという点が、とても難しいところの一つだと思います。過去の歴史上の状況と違うのは、インターネット等を使つての非対面接触の手



段が高度に発達していることで、なんだか非対面状況で人とのくらしいつながれるかの実験を強いられるような気がします。今のところ、どうもそれはあまりうまく行かないようだ、と感じている人が多いような気がします。

現代社会は、好むと好まざるとに関わらず、孤独の問題が大きくなりつつあるように思えます。誰からも看取られることなく死を迎える孤独死の数が、日本では年間三万件を超えています。ほとんどの人が結婚するところ「皆婚社会」は、歴史人口学が教えるところでは、日本ではここ四百年かそこらだそうですが、非婚化が進んで変化しつつあるように思えます。四百年前との違いは、平均寿命が大幅に延びて老年期を迎えるのが普通になっていくことと、対人関係の希薄化という点ででしょうか。孤独は深まり、その期間も長くなっていく、という点ででしょうか。

う。老いて孤独であるといふことは、大変なことだと言います。私にはどうも実感としてよくわからないところがあるのですが、あまり表立って語られることが少ないようなので、それ自体、言葉にするのが難しい体験なのではないかと考えます。どうも世の中には、いほどの孤独というものがあるのではないかと、どこかで感じているのですが。

かなり以前から、思春期青年期にある人たちが、非常に孤独を怖れるように見えるのを、少し不思議に思っていました。どうして「ぼっち」がそんなに嫌なんだろう、と。今の社会の何かを、非常に敏感に反映しているのだらうかと思いつつ、いまだにその意味をつかみかねています。

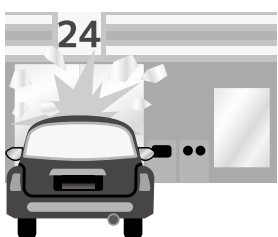
ほけんのお話

自動車保険の保険料は、保険金の支払総額の実績や将来の保険金の予測、今後の社会の動向を踏まえて算出されるので、事故を減らすことが保険料の減少につながります。今回は、最近報道されるペダル（アクセルとブレーキ）の踏み間違いを取り上げたいと思います。

損害保険料率算出機構などの資料によると、ペダル踏み間違い事故は、すべての年齢層で起きていて、20代と75歳以上が多く、20代は運転技術のレベル、75歳以上は身体機能他や認知能力の低下によるものとされています。場所は駐車場が多く、どこから人や車が現れるのかわからない状況下で、シフトレバー、ペダル、ハンドルの操作が重なり、周辺確認のため運転姿勢も崩れがちです。危険察知が遅れ、慌ててブレーキを踏むつもりでアクセルを踏む、運転者の意図と真逆の操作となり、さらに慌てて運転操作を誤るといふ悪循環に陥ります。特に、高齢者のペダル踏み間違い事故は、重大事故（死亡事故）が多いのが特徴です。

ペダル踏み間違いをなくするには、速度を落とすしながら、特に駐停車する場面などはクリープ現象（シフトレバーがPとN以外にあるとき、アクセルを踏まなくても車がゆっくりと進む現象）をうまく使い、ブレーキに足を乗せたまま操作すること、かかとを床につけてペダルと足の位置関係を身につけることです。みなさんも日ごろのペダル操作を確認してみてください。

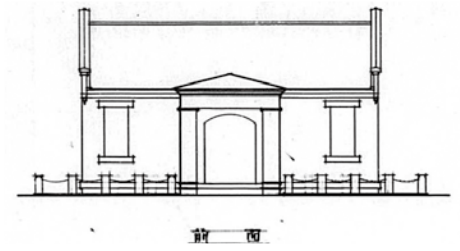
人を巻き込んだ事故を起こした場合や遭遇した場合、加害者や被害者の体と心、金銭的な負担を強いられることになるので、安全運転転を心がけましょう。安全運転サポート車に替えていくこともいいかと思えます。万が一のために自動車保険の補償を確認することも忘れずに。



大学文書館へ 行こう

第9回 「奉安庫」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



1932年に改築した「奉安殿」の前面図
(大学文書館蔵)

北大の「奉護」体制

北大では、一九一九年に現在の南門近くに、五十平方メートルほどの煉瓦造平家建の倉庫を新築し、「教育勅語」謄本・「御真影」を保管しました。このように「教育勅語」謄本・「御真影」を厳重に保管・管理することを、仰々しく「奉護」と言いました。しかし、このころの北大の「奉護」では、「教育勅語」謄本・「御真影」以外の重要な物品・文書なども、同じ倉庫内に納めている状況でした。

一九二六年に昭和天皇への代わりがあり、一九三〇年代に入っていくと、天皇を過剰に神聖視する社会風潮が広がり、文部省も「教育勅語」謄本・「御真影」のより厳格な「奉護」を求めるようになりました。そうした中で、北大は冒頭の「奉安庫」を用意します。

元節（二月十一日）、「天長節」（天皇誕生日）、「明治節」（十一月三日）などの祝日・祭日には、学校に参集した教職員・生徒学生が「御真影」に礼拝し、学校長が「教育勅語」を読み上げる学校儀式を実施しました。学校儀式に使用するとき以外は、然るべき場所で厳重に保管することを、文部省や府県等が学校に求めました。当時、学校が火事になった際には、天皇の分身であるかのように見なされていた「教育勅語」謄本・「御真影」を救い出そうと命を落とす教職員が出たり、焼失してしまった責任を取って学校長が自殺するなどの事件が頻発しました。

今回は「奉安庫」です。「奉安庫」は、戦前期に、明治天皇が道徳教育の理念を示した「教育勅語」の謄本や、天皇・皇后の写真「御真影」を保管した堅牢な耐火金庫です。外面は鉄製、漆塗り、内部は檜製の収納です。日本国家を示す紋章「十六葉一重菊紋」や「五七桐花紋」、聖人の治世を象徴する鳳凰などをあしらっています。一九三一年に東京神田区の祝金庫本店が製造した旨の銘があります。

戦前期、小学校から大学に至る学校は、「教育勅語」謄本を文部省から、「御真影」も文部省を通じて宮内省から下付を受けていました。一月一日、「紀

さらには一九三二年には、先の煉瓦造の倉庫を「教育勅語」謄本・「御真影」だけを「奉護」する施設に改築しました。鉄筋コンクリートなどで耐火性を高め、外観に装飾を施し、スチール製扉を設置し、建物前面に柵を巡らし



「奉安庫」(大学文書館蔵)

戦後、「教育勅語」謄本・「御真影」は文部省へ返却処分となりました。北大では、「奉護」施設ではなくなった旧「奉安殿」建物を事務局の書類保存庫に転用し、「奉安庫」も貴重資料の金庫に利用しました。旧「奉安殿」建物は一九八〇年十二月に取り壊しとなります。行き場を失った「奉安庫」は、モデル・バーンにある牧牛舎に移され、長く置きっ放しになっていました。二〇一七年九月、大学文書館は、関係者の協力を得て、「奉安庫」を歴史的資料として移管を受けました。以来、展示ホールに鎮座在し、往時の様子を伝えています。

ました。機能だけではなく、外観も「奉護」施設にふさわしい姿に変貌しました。こうした「教育勅語」謄本・「御真影」を「奉護」する目的の建物を「奉安殿」と呼びます。北大では、「奉安殿」と「奉安庫」により「奉護」していました。

さらに、四方英四郎名誉教授（植物病理学）のお話によると、戦時中、当時学生であった四方先生は、緊急時に「教育勅語」謄本・「御真影」を避難させる係であったそうです。空襲警報があると、「奉安殿」に駆けつけ、「教育勅語」謄本・「御真影」を持ち出し、サクシユコト二川に掛かる橋の下にあった退避場所へ退避させたと言います。

正門から附属図書館前を通ってクランク像に至る道に現在も掛かっている、あの橋の袂です。

「奉安殿」と「奉安庫」のその後

旧「奉安殿」建物（1980年撮影、大学文書館蔵）



旧「奉安殿」建物（1980年撮影、大学文書館蔵）

クラーク 書籍便り Vol.08

本屋大賞ノミネート作品が3冊ランクイン。その中の一冊「六人の嘘つきな大学生」は、就活をめぐる学生たちのバトルなのに、最後がこんなにさわやかに終わるなんて!という佳作。

クラーク2月一般書ランキング

	書名	著者名	出版社		書名	著者名	出版社
1	六人の嘘つきな大学生	朝倉秋成	KADOKAWA	6	北大キャンパスガイド	北海道大学 COSTEP	北海道大学 出版会
2	世界一美味しい手抜きごはん	はらべこ グリズリー	KADOKAWA	7	黒牢城	米澤穂信	KADOKAWA
3	ブラックボックス	砂川文次	講談社	8	正欲	朝井リョウ	新潮社
4	複雑化の教育論 越境する教育	内田樹	東洋館出版社	9	デカメロン・プロジェクト	ニューヨーク・ タイムズ・マガジン	河出書房新社
5	さあ、才能に目覚めよう 新版	トム・ラス	日経BPM	10	アーモンド	ソン・ ウォンピョン	祥伝社

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■受験生歓迎活動をしました。

2022年度北大入学試験を受験する受験生や保護者を対象に歓迎活動を行いました。対談企画の「北大生と話そう」を行ったり、受験生応援冊子『いな蔵』を作成してホテルに配架したりしました。



▲いな蔵表紙

■「タヌローのつぶやき」を行いました。

共済活動の「タヌローのつぶやき」全7回が終了しました。共済関連のトピックを1枚のポスターにして、Twitterと中央食堂で公表していました。



▲タヌローのつぶやき 第6回

■学生委員会公式HP、Twitter

<https://hokudai-coop-gi.co.jp/>
[@HU_COOP_GI_CS](https://twitter.com/HU_COOP_GI_CS)

学生委員会の活動や学生委員の日の様子など、学生委員会のことについて詳しく知りたい方は、公式HP・Twitterをどうぞご覧ください。

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

学生委員会に意見・質問のある方は、こちらのメールアドレスにご連絡ください。これからも学生委員会をよりよく願います!!

院生委員会

■2022年度新体制発足!

新修士1年生2人を加えた合計5人で新体制が発足しました。院生一人一人に有意義な院生生活を送ってもらえるような企画の実施を予定しています。本年度もどうぞ宜しくお願いします!また、新しいメンバーも随時募集しています。気になった人はメールやTwitterからご一報を!

■新入院生歓迎会開催!

4月2日に新入院生歓迎会を実施しました。参加して下さった皆さんありがとうございました!

■院生委員会公式Twitter

[@Hokudainsei_coo](https://twitter.com/Hokudainsei_coo)

世の中のたくさんの情報の中から北大の大学院生にかかわる情報を発信しています。私たちが企画した大学院生向けのイベント情報なども発信していきます。大学院生や大学院進学予定の学部生のみなさんはぜひご覧ください。

■院生委員会連絡先

hokudai_insei@coop.hokudai.ac.jp

現在、院生委員会では新年度を迎えるにあたり、学生の皆さんにどのような活動・サポートをしていけるか検討しています。困っていることやご要望があればぜひご連絡ください。

教職員委員会

■教職員総代会議..2月15日と16日

日に開催した総代会議では、理学部で実施したアンケート結果について意見交流しました。3月15日と16日の総代会議では、生協加入を増やしていくためのアイデアについて意見交流しました。

■教職員委員会..2月17日と3月17日に開催しています。来期は、組織委員が3名になっていきます。「きぼうの虹」の編集や、フォトコンテスト、総代会議と理事會を結ぶ役割を果たしています。興味のある方は、理事會室までお声がけください。

■「きぼうの虹」..この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。

【編集後記】

私が北大に採用された1980年ころ、受験生と言えば大概学ランとセーラー服。お化粧してる子は皆無。受験室前の廊下には吸い殻の水の入ったバケツが。今ではおしゃれな私服に上手なお化粧。キャンパスは禁煙。住まいも4畳半の下宿からエアコン付きのマンションにライフスタイルも変わって。さて生協はこうした時代の流れにどれだけ対応出来たのか。経営危機はコロナ禍だけが原因なのか。また本学も世界から優秀な学生を集めたいなら、福利厚生の一部を担う北大生協と一緒に、大学も二人三脚で腰を据えて対応しなければ、小手先の変化ではこの大きな荒波は乗り越えられない。